第3期秋田県医療費適正化計画 P D C A 管理

1. 目標に関する評価

(1) 住民の健康の保持の推進に関する目標

① 特定健康診査の実施率に関する数値目標

項目	年度	計画の足下値 (2015年度)	第3期計画期間					2023年度 (目標値)	備考
			2018	2019	2020	2021	2022		
特定健康診査の実施率(%)	目標達成に必要な数値		50.0	54.0	58.0	62.0	66.0	70.0	2016年度実績値 46.4%
出典:厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導に関するデータ」	実績	46.5	49.8						2017年度実績値 48.6%
2019年度の 取組・課題	【取組】	<ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医による特定健診未受診者への受診勧奨について、これまではモデル事業として実施してきたが、2019年度は全県域で実施した。 ・協会けんぽ、労働局及び県の三者連名により、事業所に対し、事業主健診のデータを医療保険者に提供してもらいよう依頼する文書を発出した。 ・市町村国保における特定健診の集合契約を実施し、受診しやすい環境整備を行った。 							
	【課題】	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年度の本県の特定健康診査実施率(49.8%)は全国平均(54.7%)を下回っており、目標の70%までは大きな開きがある。 ・特に、市町村国保の加入者と被用者保険の被扶養者の受診率が低いことから、受診率向上に向けては、これらの受診率が低い層に対する効果的なアプローチや、受診しやすい環境整備が課題となっている。 							
次年度以降の 改善について	2020年度は、市町村国保における特定健診の集合契約において、治療中の患者の診療情報を医療機関から市町村国保に提供する取組を実施している。 また、テレビCMや広報紙、ウェブサイト等、様々な媒体を活用して、コロナ禍においても健診受診が必要であることを県民へ啓発している。 2021年度は、かかりつけ医のほか、かかりつけ歯科医やかかりつけ薬剤師・薬局からの受診勧奨を行うとともに、がん対策推進企業等連携協定締結企業と連携し、健診受診の重要性を県民に呼びかける予定としている。								

② 特定保健指導の実施率に関する数値目標

項目	年度	計画の足下値 (2015年度)	第3期計画期間					2023年度 (目標値)	備考
			2018	2019	2020	2021	2022		
特定保健指導の実施率(%)	目標達成に必要な数値		24.0	28.0	32.0	36.0	40.0	45.0	2016年度実績値 22.4%
出典:厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導に関するデータ」	実績	19.2	24.6						2017年度実績値 20.8%
2019年度の 取組・課題	【取組】	<ul style="list-style-type: none"> ・行動変容につながる効果的な保健指導の実施に向け、特定保健指導を担う行政の保健師等を対象として、グループワークを交えた実践的な研修会を開催した。 ・医療保険者が地域の特徴を捉えた効果的な保健指導を実施できるよう、特定健診のデータ等を市町村別に集計した「健康づくり支援資料集」を発行した。 							
	【課題】	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年度の本県の特定保健指導実施率(24.6%)は、全国平均(23.2%)を上回っているものの、目標の45%までは大きな開きがある。 ・対象者が固定化する中であっても高い実施率を維持するためには、特定保健指導従事者の資質向上を図るなどして、効果的で魅力的な保健指導を実施する必要がある。 ・働き盛り世代の実施率向上を図るため、職場の理解を求めると、保健指導を受けやすい環境づくりを進めていく必要がある。 							
次年度以降の 改善について	引き続き「健康づくり支援資料集」の発行を行ったほか、保健指導者向けの講習会を開催予定である。 2021年度も継続予定。								

③ メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率に関する数値目標

項目	年度	計画の足下値 (2015年度)	第3期計画期間					2023年度 (目標値)	備考
			2018	2019	2020	2021	2022		
特定保健指導対象者の減少率(%) ※平成20年度比	目標達成に必要な数値		15.0	17.0	19.0	21.0	23.0	25.0	2016年度実績値 13.8%
出典:厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導に関するデータ」	実績	13.7	11.0						2017年度実績値 12.4%
2019年度の 取組・課題	【取組】	<ul style="list-style-type: none"> ・「健康寿命日本一」を目指す取組として、秋田県健康づくり県民運動推進協議会を中心とした健康づくりに取り組む気運の醸成、食生活改善や運動による健康づくりなどに幅広く取り組んだほか、秋田県版健康経営優良法人認定制度を創設し、働き盛り世代の健康への意識改革・行動変容を促す環境を整えた。 ・メタボ該当者・予備群の減少につながる主な取組としては、運動不足になりがちな冬期間に、屋内商業施設を活用したウォーキングイベントを開催したほか、健診等の経過観察者を対象とした「健康合宿」などを実施した。 							
	【課題】	<ul style="list-style-type: none"> ・健康に対して無関心な県民や働き盛り世代に対する意識改革、行動変容を促す取組・仕組みが不足している。 							
次年度以降の 改善について	引き続き秋田県版健康経営優良法人制度の普及を進めるほか、県内の著名人を「健康応援大使」に任命し、SNS等で健康づくり情報を発信することで、健康無関心層の意識改革を図っていく。 これまで県央・県南地区で実施してきた冬期間のウォーキングイベントについて、県北での開催を進めることで、運動機会の拡充を図る。								

④ たばこ対策に関する数値目標

項目	年度	計画の足下値 (2015年度)	第3期計画期間						備考
			2018	2019	2020	2021	2022	2023年度 (目標値)	
習慣的に喫煙する者の割合(%)	男性	目標達成に 必要な数値	32.3	30.7	29.1	27.5	25.9	24.3	
			女性	目標達成に 必要な数値	10.2	9.4	8.8	8.1	
	男性	実績			33.9	26.8			
			女性	実績	11.0	7.2			
2019年度の 取組・課題		<p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「受動喫煙ゼロ」の環境づくりを推進するとともに、20歳未満の者を受動喫煙から守ることを目的に、2019年7月に改正健康増進法よりも一歩踏み込んだ内容の秋田県受動喫煙防止条例を公布・一部施行した。 改正法及び条例の趣旨・内容の周知及びたばこによる健康被害に関する正しい知識の普及啓発を図るため、受動喫煙防止、禁煙支援及び若い世代の喫煙防止の3つの観点から総合的なたばこ対策事業を実施した。 県民及び事業所等からの相談窓口の設置、禁煙ステッカー等啓発資材の配布、事業所訪問及び出前講座の実施等により、県民の受動喫煙防止への取り組みを支援した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 喫煙率は低下傾向にあり、直近の実績値（2018年）においても、男女ともに大幅な低下が見られた。（2015年比▲5.1ポイント） 喫煙者のうち、たばこをやめたいと思っている人の割合が38.7%（2018年）となっており、これらの方々に対する禁煙支援の取組を行っていく必要がある。 							
次年度以降の 改善について		<p>これまで実施してきた禁煙支援、若い世代の喫煙防止及び受動喫煙防止対策の取組を一層強化し、2020年4月1日の改正健康増進法及び受動喫煙防止条例の本格施行に合わせ、改正法及び条例の趣旨・内容等の周知及び県民からの相談対応や事業者への指導等の強化を図る。</p>							

⑤ その他予防・健康づくりに関する数値目標

項目	年度	計画の足下値 (2015年度)	第3期計画期間						備考						
			2018	2019	2020	2021	2022	2023年度 (目標値)							
がん検診受診率(%)	胃	目標達成に 必要な数値	25.0	30.0	35.0	40.0	45.0	50.0	第3期秋田県が ん対策推進計画 の見直しに伴い、 がん検診受診率 の算定方法も見 直すこととして いる。 (R3年4月施行 予定)						
			大腸	目標達成に 必要な数値	40.0	42.0	44.0	46.0		48.0	50.0				
					肺	目標達成に 必要な数値	32.3	35.9		39.5	43.1	46.7	50.0		
							子宮	目標達成に 必要な数値		41.9	43.5	45.1	46.7	48.3	50.0
										乳	目標達成に 必要な数値	46.6	47.3	48.0	48.7
	胃	実績	20.3												
			大腸	実績	38.1										
					肺	実績	28.7								
							子宮	実績		40.3					
										乳	実績	45.9			
2019年度の 取組・課題		<p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 胃がんの罹患率が上昇する50歳代を対象に、市町村が行う胃がん検診に係る受診者自己負担額を無料化する経費に対して助成した。 大腸がん、肺がん、子宮頸がん及び乳がんの罹患率の上昇する年齢層を対象に、コール・リコールによる受診勧奨を行うことを要件として、市町村が行う各がん検診に係る受診者自己負担額を軽減する経費に対して助成した。 県内メディアと連携し、がんについての正しい知識を啓発するフォーラムやセミナーを開催した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実績値判明後、分析予定 													
次年度以降の 改善について		<ul style="list-style-type: none"> 実績値判明後、分析予定 													

(2) 医療の効率的な提供の推進に関する目標

① 後発医薬品の使用促進に関する数値目標

項目	年度	計画の足下値 (2016年度)	第3期計画期間						備考
			2018	2019	2020	2021	2022	2023年度 (目標値)	
後発医薬品の使用割合(%)	目標達成に必要な数値		70.0	75.0	80.0	80.0	80.0	80.0	
出典:厚生労働省「調剤医療費の動向」	実績	66.7	78.6	81.5					
2019年度の 取組・課題	【取組】	<ul style="list-style-type: none"> ・東北厚生局秋田事務所長、協会けんぽ秋田支部長と連名で、県内の全医療機関・薬局に後発医薬品の使用促進に向けた協力依頼文書を発出した。 ・東北厚生局秋田事務所、協会けんぽ秋田支部等と合同で5病院を訪問し、後発医薬品の使用促進に向けた協力依頼をするとともに、現状や取組状況等のヒアリングを行った。 ・薬とくらしの教室(出前講座)を実施したほか、薬と健康の週間(10/17~23)事業で「健康展」を開催した。 ・医薬品等安全安心使用促進協議会を開催した。 ・診療所向けに医薬品の使用に関する意識調査を実施した。 							
	【課題】	<ul style="list-style-type: none"> ・当県が設定した調剤メディアスデータ(レセプト電算処理システムで処理された調剤レセプトデータ)は目標値を達成したが、国の設定した調剤メディアスデータに加えて院内処方及び紙レセプトを含んだデータ(今後発表)を踏まえて今後の活動を検討する必要がある。 ・新型コロナウイルス感染症対応により、病院訪問及びイベント開催が困難となった。 							
次年度以降の 改善について	<ul style="list-style-type: none"> ・対面による啓発が困難になったことで実績値が下がらないよう、関係機関と協議の上、対面以外の啓発方法の更なる充実を検討していく。 								

② その他の医療の効率的な提供に関する数値目標

項目	年度	計画の足下値 (2016年度)	第3期計画期間						備考
			2018	2019	2020	2021	2022	2023年度 (目標値)	
健康サポート薬局の届出数(件)	目標達成に必要な数値		12	20	28	36	44	50	
出典:秋田県医薬業事課調べ	実績	4	21	31					
2019年度の 取組・課題	【取組】	<ul style="list-style-type: none"> ・秋田県薬剤師会は、県行政担当等を講師として健康サポート薬局の届出に必要な研修を年2回、健康サポート薬局普及推進のためのワークショップを年1回、継続的に開催している。 							
	【課題】	<ul style="list-style-type: none"> ・健康サポート薬局には、24時間対応、在宅対応、所定開店時間の研修薬剤師の常駐が求められており、薬剤師が1人しかいない薬局では体制整備が難しい。 							
次年度以降の 改善について	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年8月施行の「地域連携薬局認定制度」においては、一部の機能において健康サポート薬局と同等の機能が求められていることから、合わせて周知を図る。 								